SOTO ZEN 曹洞宗

杓底の一残水
流れを汲む千億の人

水も、電気も、
私たちの生活には欠かせません。
生きていくために必要なモノは
社会という「小川」のなかで共有されています。
禅の生活、それは「モノを大切にし、感謝する自分」
「人を思いやり、共に生きる自分」を育てることです。

「小川」の水を柄杓に汲んで必要な分だけいただき、使わなかった水はそっと流れに戻す。その水は廻り、たくさんの人びとに大切に使われる。

この「偈」は大本山永平寺七十三世熊澤泰禅禅師（一八七三～一九六八）が詠まれたもので、永平寺正門の石柱に刻まれています。